

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰とでも楽しめるユニバーサルフィールドづくり「あなたの手は誰かの翼」
事業主体 (連絡先)	ユニバーサルフィールドづくり実行委員会 電話 0266-66-2121
事業区分	(1)⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,000,000 円 (うち支援金: 3,750,000 円)

事業内容

- 1) ユニバーサルフェス
- 2) ユニバーサルガイド育成、モニターツアー
(グリーンシーズン)
 - ①ユニバーサルガイド育成
 - ②モニターツアー
- 3) 冬のガイド講習、モニターツアー
 - ①パイロット・ガイド講習会
 - ②教職員向け講習会
 - ③スキー関係者向け講習会 (体験会)
 - ④モニターツアー (体験会)

(活動写真)



【デュアルスキーデモ滑走
(銀嶺国体・白馬.3月)】

【目標・ねらい】

- ①概念の確立
- ②担い手の育成
- ③県内への普及・啓蒙
- ④県外への取り組み紹介

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①概念の確立
地域内でのイベント、体験会を通し方向性を示し、「ユニバーサルツーリズム推進協議会」の発足
- ②担い手の育成
ツアーガイド、サポーター育成と共に、教職員、行政関係者、観光従事者などの理解が進んだ。
- ③県内への普及・啓蒙
新聞、テレビなどで取り上げられ、長野市、白馬などの地域に推進団体が生まれた。
- ④県外への取り組み紹介
当事業や関連イベント(山の日シンポジウム、銀嶺国体など)を通し、県内外に紹介、利用者、協力者を獲得。

※自己評価 【 A 】

【理由】

長野県林務課、長野県教育委員会など当初想定できなかった組織の協力が得られ、啓蒙活動を推進することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①利用者に対するサービスの一元化(情報提供、人材紹介、機器貸出など)を平成30年度目指し整備する。この為の担い手、受入環境整備、啓蒙活動を平成29年度に行う。
- ②高齢者や障害児童など地域住民などが利用しやすい観光環境を整備し、この利用を基に県外、他地域からの利用者が利用しやすいサービスを構築する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある